

熊本高森線でごみ拾い 県電設協がボランティア



熊本県電設業協会（岩崎裕会長）の27回目となる熊本高森線道路清掃が3日、会員企業の社員とその家族ら144人が参

加して開かれた。熊本市と協定を結ぶ「道路ふれあい美化ボランティア活動」。参加者は、熊本市役所前を起点

に白川の大甲橋までと坪井川の桜町橋までの2ルート（計1・5キロ）に分かれ、歩道や植樹帯に捨てられたごみを拾い集めた。

出発式では、企画運営した協会安全福祉委員会の委員長代理でタイハイテクノスの大森貴宏氏が「新型コロナウイルスが5類感染症に移行し社会経済活動も急速に回復してきた。環境の変化に対応しつつ、持続可能な社会の実現に少しでも貢献できるようボランティア活動に取り組んでいこう」と挨拶した。